平成29年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	297
会計	一般会計		
事業区分	政策	実施区分	継続
開始		終了	

事務事業名	社会教育推進事業

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第２次飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	①家庭 ②小・中・高校生及び一般　③「地域振興の知の拠点」について
	意図	①家族が共に時間を過ごし、相互に成長することで生きる力を育む。 ②明るい社会を維持する。心豊かな人間性を育む。　③構想を策定する。

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	人権教育：公民館主催の人権学習講座の支援を行い、人権問題に対する理解を深めました。平和学習：市内の小中学校における満蒙開拓平和記念館を活用した学習支援を行いました。また、平和祈念館資料室の開館を通じ、市民への平和に対する意識醸成を図りました。家庭教育：「結いの日」の啓発放送、三行詩、ポスターコンクールにより、家庭教育への関心を高めました。青少年：伊勢市との小学生交流会を実施し、児童間の親睦と児童会活動の充実、地域への愛着を深めました。育成センター：例年の街頭啓発の他、飯田市PTA連合会と共同で、店舗への子どもを性被害から守るための条例における子どもの深夜外出防止への協力依頼を行いました。	人権教育推進事業	133
		平和学習推進事業	115
		家庭教育推進事業	301
		青少年健全育成事業	1,006
		青少年育成センター事業	262
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	「わが家の結いタイム」啓発活動の回数	回	34	20			
	人権学習講座数	回		21			
	満蒙記念館を活用した平和学習実施校数	校	4	5			
	伊勢市の交流を行った児童数	人	27	24			
	青少年健全育成に関する巡回・啓発回数	回		4			
	「地域振興の知の拠点」計画策定	式		0			

29年度決算(千円)				特定財源内訳及び補足事項
	予算額		2,129	（県）人権教育促進事業補助金　75千円 （そ）平成29年度子ども会安全教育及び安全共済会業務受託関係事業地方（市町村）事務補助費　3千円
	決算額		1,817	
	財源の状況	国庫支出金	0	
		県支出金	75	
		地方債	0	
		その他	3	
		一般財源	1,739	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	5	169	133	人権教育推進事業費
2	1	10	5	1	10	6	131	115	平和学習推進事業費
3	1	10	5	1	10	7	359	301	家庭教育推進事業費
4	1	10	5	2	10	1	1,052	1,006	青少年健全育成事業費
5	1	10	5	2	10	2	418	262	青少年育成センター事業費
6									
7									

振返り課題認識	人権：インターネットを媒体とした人権侵害等に対する啓発を行う必要があります。平和：さらに学校で平和学習を推進していく必要があります。家庭：核家族、共働き等で家庭の在り方が時代と共に変わるので、取組も現状に合わせて見直す必要があります。青少年：他地域の児童との交流を深め、グローバル時代に適した人材育成に努める必要があります。育成セ：青少年を健全に育む取組をさらに推進していく必要があります。
上記の課題解決のための有効策	人権：学校、PTA、地域と連携し推進・啓発を行います。平和：学習モデルとなるプログラムを学校と共に作成し、学校現場で有効な平和学習を進めます。家庭：推進協議会等で意見を伺うことが必要だと考えます。青少年：交流プログラムを検討し、児童の活発な交流を促します。育成セ：学校、PTA、地域が連携し啓発活動を行います。
次年度に向けての取り組み	人権：学校、PTA、地域と連携し、インターネット等による人権侵害に対する取組みを行います。平和：学習モデルの検討を学校と共に行います。家庭：推進協議会等で意見を集約し、今後の取組の在り方を考えます。青少年：伊勢市との交流では初対面の児童が打ち解けやすい内容を検討します。育成セ：PTA連合会と共同で店舗への協力依頼及び啓発活動を行います。